



# 1 公衆衛生 看護学 概論

## <執筆者一覧>

村嶋幸代	大分県立看護科学大学理事長・学長
成瀬昂	東京大学大学院特任准教授
村山洋史	東京都健康長寿医療センター研究所研究副部長
斉藤恵美子	東京都立大学大学院教授
大木幸子	杏林大学教授
石田千絵	日本赤十字看護大学教授
山下留理子	徳島大学大学院特任教授
吉川悦子	日本赤十字看護大学准教授
井口理	日本赤十字看護大学准教授
鈴木良美	東京医科大学教授
野村美千江	愛媛県立医療技術大学教授
山本則子	東京大学医学部・大学院教授
吉岡京子	国立保健医療科学院上席主任研究官
本田千可子	東京大学大学院助教

## ポイント

- 公衆衛生看護の概念、活動の対象・場、環境など、活動の基礎を具体的に解説しています。
- 公衆衛生看護活動の基盤となる理論・モデルについては、基本的知識の説明にとどまらず、活動するなかで実際に起こり得る場面を想定し、活用できる理論・モデルを探りあてていく思考過程を紹介しています。
- 近年、重要性が増している健康危機管理についてはページ数を増やして動向を記述し、今後求められる役割について考えていきます。
- 公衆衛生看護活動において必要不可欠な研究については、章のなかで研究との向き合い方について理解を深め、実務者として積極的に研究を活用・実施する保健師を目指します。

- 1章 公衆衛生看護とは
  - 1 公衆衛生看護の概念と変遷
  - 2 公衆衛生看護の基本理念
  - 3 活動根拠となる法令
  - 4 ヘルスケアシステムの中で果たす機能・役割※
  - 5 コンピテンシー、キャリア開発、ラダー、活躍の場※
  - 6 公衆衛生看護活動と展開過程の基本
- 2章 公衆衛生看護活動に活用できる理論・モデルの理解と評価方法
- 3章 予防の概念と健康に影響する社会的要因
  - 1 健康の社会的決定要因
  - 2 人口・疾病構造の変化と健康課題
  - 3 社会情勢、政治・経済・産業構造の変化
  - 4 社会構造・文化的背景・環境の変化と健康課題
- 4章 公衆衛生看護の対象と場
  - 1 地域社会を構成する単位と公衆衛生看護の対象
  - 2 公衆衛生看護活動の場
- 5章 公衆衛生看護における倫理
  - 1 公衆衛生看護の責務
  - 2 保健師の職業倫理
  - 3 社会的正義・公正に基づくこと
  - 4 倫理的問題に対応する能力とは
- 6章 健康危機管理
  - 1 健康危機管理の基本
  - 2 健康危機管理に必要な広域的視点
  - 3 災害に対応した保健活動
  - 4 災害予防と事前対策
  - 5 発災直後から応急対策期の保健活動
  - 6 災害復旧・復興対策期の保健活動
  - 7 感染症の集団発生への保健活動
  - 8 テロへの対応
- 7章 国際保健
  - 1 公衆衛生看護活動に必要な国際的視野
  - 2 在日外国人に対する公衆衛生看護
  - 3 国境を越えた健康課題への対応
- 8章 公衆衛生看護の歴史
  - 1 公衆衛生と公衆衛生看護の歴史
  - 2 わが国の公衆衛生看護の歴史
- 9章 公衆衛生看護における研究の重要性